

## 韓国語の漢語動詞の語彙調査 (2)

—— 『李箱文学賞作品集 2006 - 2015』 の分析を中心に ——

尹 亭 仁

In this paper, I conducted a survey of Korean verbs of Chinese origin used in the novels awarded the *Lee Sang Literature Award* for ten years (2006-2015). This vocabulary survey is meant to supplement the previous vocabulary survey of editorials in the *Korea JoongAng Daily* over one year (2016). Based on the results of this survey, I surmise that Koreans need the knowledge of about 1,800 Chinese verbs to understand not only editorials but also novels.

In this paper, I found that about 1,000 Chinese verbs had common usage in editorials and novels. And I found about 110 Chinese verbs were used in editorials, novels and Korean textbooks in Japan and Korea. From now on, based on the two vocabulary surveys of editorials and novels, and the additional survey of Korean textbooks, I would like to establish a list of 300 Chinese verbs as the basic Chinese verbs necessary for Korean-language education at universities in Japan, and present them in Korean classes.

キーワード：韓国語、語彙調査、使用語彙、基本漢語動詞、韓国語教育

### 1. はじめに

韓国語の動詞は、日本語の和語動詞に相当する「固有語動詞」と「漢語動詞」の2種類に大別できる。この2種類の動詞の住み分けの割合は、今のところ明らかではない。日本語の場合、漢語 49.1%、和語 33.8%、外来語・混種語 17.1%という数値が提示されている（沖森他 2006:71）。しかし、「和語動詞」と「漢語動詞」についての割合は提示されていない。この数値から少なくとも和語より漢語が多いことは分かる。従来の研究から韓国語においても同様のことが言える。

本稿では、韓国語における「漢語動詞」の使用状況を把握すべく、また

日本での韓国語教育に資する目安を得るために、韓国の主要文学賞である「李箱文学賞」の10年間(2006-2015)の受賞作品を中心に語彙調査を行なった。尹亨仁・崔英姬(2017)は、韓国の日刊紙の1年間の社説に用いられた漢語動詞の語彙調査から約1,800語を「使用語彙」として提示している。本稿では、尹・崔(2017)での調査の結果を踏まえつつ、新聞の社説が持つ語彙的偏りを補うべく、韓国の小説の語彙調査に取りかかった。この調査を通して、韓国の小説における漢語動詞の使用語彙の現状や新聞の語彙調査とは違う問題点などを浮き彫りにし、それを韓国語教育における漢語動詞の使用状況と比較するとともに、韓国語教育に必要な「基本漢語動詞」の算出を試み、今後の韓国語教育に役立てたい。

## 2. 先行研究と本稿の目的

韓国語の漢語動詞について尹亨仁(2015)は、『デイリーコンサイス韓日辞典』(2009)の見出し語の分析から約6,000語の漢語動詞の数値を提示している。日本語の場合、筆者が調べたところ、『デイリーコンサイス国語辞典』(2010)には約7,300語の漢語動詞が見出し語として載っている。「曲流する」「出店する」「答訪する」などは載っていない。1字漢語動詞の「医する」「委する」「例する」なども『デイリーコンサイス国語辞典』(2010)より規模の大きい『大辞林』(2005)には載っているが、これには載っていない。辞書名から、また辞書の大きさから『デイリーコンサイス国語辞典』(2010)は見出し語の漢語動詞が『大辞林』(2005)より多くはないと思われる。『デイリーコンサイス韓日辞典』(2009)にも韓国の国語辞典には載っているが、これには載っていない漢語動詞もある。

尹・崔(2017)では、韓国の新聞の社説に用いられた漢語動詞の語彙調査から約1,800語が「使用語彙」として提示されている。これは1つの目安にはなるものの、韓国語における漢語動詞の使用語彙数とは言い難い。本稿では、尹・崔(2017)での調査結果を補うべく、韓国の主要文学賞の10年間の受賞作品の語彙調査に取りかかった。これにより、新聞社説の語彙調査からは見られなかった漢語動詞の違う側面や韓国語教育に生かせる共通点などが見出せると思われる。韓国語教育において基本となる漢語動詞の算出を試みるのが本稿の目的である。

### 3. 語彙調査の対象の選定

尹・崔 (2017) では、実際どのような漢語動詞がどの程度用いられているのか、またそれらの頻度はどうなのかを調べるべく『中央日報』の社説の1年分 (2016年) の語彙調査を行なった。本稿では、それを補うべく、韓国の主要文学賞の10年間の受賞作品の語彙調査に取りかかった。前回の調査対象であった新聞の社説の調査結果との比較材料となると判断したからである。小説に用いられる漢語動詞と新聞の社説に用いられる漢語動詞にはどのような相異が見られるかも日本における韓国語教育には必要である。

#### 3.1 小説の語彙調査の対象の選定

今回の語彙調査の対象である「李箱文学賞」は、文学思想社が1977年に設け、2018年に第42回を迎えた韓国を代表する文学賞である。「東仁文学賞」(1955年創設)、「黄順元文学賞」(2001年創設)とともに最も権威のある文学賞の1つとされている。毎年、大賞受賞作を含め、7～10作品を収録した『李箱文学賞受賞集』を1冊刊行している。本調査では (1) の83作品を調査対象とした。

- |           |             |
|-----------|-------------|
| (1) 2006年 | 8作品         |
| 2007年     | 9作品         |
| 2008年     | 9作品         |
| 2009年     | 8作品         |
| 2010年     | 8作品         |
| 2011年     | 8作品         |
| 2012年     | 8作品         |
| 2013年     | 8作品         |
| 2014年     | 8作品         |
| 2015年     | 9作品 (全83作品) |

#### 3.2 分析対象語彙の基準

今回の調査の分析対象語彙の基準は、尹・崔 (2017) での『中央日報』(2016年) の調査基準に従った<sup>1)</sup>。以下では、この語彙調査の結果を《李箱文学賞10年》と呼ぶことにする。

#### 4. 《李箱文学賞 10 年》に用いられた漢語動詞の頻度および特徴

##### 4.1 《李箱文学賞 10 年》の語彙数

《李箱文学賞 10 年》の語彙調査の結果を<表 1>にまとめた。

<表 1> 《李箱文学賞 10 年》の漢語動詞の語数および割合

音節	延べ語数	割合 (%)	異なり語数	割合 (%)
1 音節	2,911	22.15	67	3.86
2 音節	10,124	77.04	1,613	92.86
3 音節	55	0.42	30	1.73
4 音節	51	0.39	27	1.55
5 音節	0	0	0	0
6 音節	0	0	0	0
総語彙数	13,141	100	1,737	100

延べ語数は「13,141 語」、異なり語数は「1,737 語」である。延べ語数においては、1 字漢語動詞の使用状況が、異なり語数においては 2 字漢語動詞が占める割合の落差が目立つ。

##### 4.2 小説と新聞における使用語彙数の比較

《李箱文学賞 10 年》の調査の結果は、韓国語における漢語動詞の使用状況の一端を示している。この調査の結果を、『デイリーコンサイス韓日辞典』(2009)、《中央 2016》と比較すべく<表 2>にまとめた。

<表 2> 漢語動詞の異なり語数の比較

音節	デイリー韓日辞典	割合 (%)	中央 2016	割合 (%)	李箱 10 年	割合 (%)
1 音節	82	1.37	49	2.75	67	3.86
2 音節	5,334	89.84	1,560	87.60	1,613	92.86
3 音節	283	4.77	128	7.19	30	1.73
4 音節	237	3.99	43	2.41	27	1.55
5 音節	0	0	1	0.05	0	0
6 音節	1	0.02	0	0	0	0
総語彙数	5,937	100.00	1,781	100.00	1,737	100

《李箱文学賞 10 年》の漢語動詞と《中央 2016》の漢語動詞の異なり語数は「1,737 語」と「1,781 語」で、44 語の差である。単純計算にすると、短編小説 2 作品分ほどの差である。〈表 2〉から新聞より小説の方が多様な 2 字漢語動詞を用いていることが分かる。使用語彙数も多いが、総語彙数で占める割合も 92.86% と、最も高い。小説という媒体が持つ表現の豊かさとも言えるものであろうか。

参考として、日本語における漢語動詞の使用状況についても数値を提示する。辞書、1 年間の新聞の社説、小説での調査結果を〈表 3〉にまとめた。小説の場合、吉本ばななの『キッチン』（1988）の 1 冊のみであるため、語数は少ないが、1 つの参考にはなると思われる。

〈表 3〉漢語動詞の異なり語数の比較

音節	デイリー国語辞典	割合(%)	小林(2004)	割合(%)	吉本ばなな	割合(%)
1 音節	226	3.12	-	-	19	8.12
2 音節	6,801	93.92	1,440	82.28	209	89.32
3 音節	94	1.30	134	7.66	2	0.85
4 音節	119	1.65	123	7.03	4	1.71
5 音節	1	0.01	[その他] 53	3.03	0	0
6 音節	0	0	-	-	0	0
総語彙数	7,241	100.00	1,750	100.00	234	100.00

日韓両言語ともに、2 字漢語動詞が占める割合が高く、新聞の社説でも、小説でも高い使用状況を呈していることが分かる。小林(2004)の場合、『朝日新聞』（1989 年）のデータである。約 30 年前のデータなので、今と比較してみると、漢語動詞の使用状況の変化が見られると思われる。

### 4.3 1 字漢語動詞

#### 4.3.1 高い使用状況

《李箱文学賞 10 年》で、1 字漢語動詞の異なり語数は 67 語で、少なくない使用状況を呈している。延べ語数も全体の約 2 割を占めるほどである。『デイリーコンサイス韓日辞典』（2009）の見出し語の 82 語の 82% を占めている。日本語の『デイリーコンサイス国語辞典』（2010）には 226 語の 1 字漢語動詞が載っているが、吉本ばなな（1988）を見ると、19 語である。

<表 4>に上位 20 位までの 1 字漢語動詞を提示する。

<表 4> 《李箱文学賞 10 年》の 1 字漢語動詞上位 20 語および語数

順位	1 字漢語動詞 <sup>3)</sup>	延べ語数	割合	対応する日本語
1	대(對)하다	659	22.64	対する・つく
2	위(爲)하다	473	16.25	為(に)
3	향(向)하다	329	11.30	向かう・向ける
4	통(通)하다	132	4.53	通じる・通す
5	취(醉)하다	123	4.23	酔う
6	원(願)하다	121	4.16	願う
7	구(求)하다	105	3.61	求める
8	변(變)하다	97	3.33	変わる
9	피(避)하다	90	3.09	避ける
10	전(傳)하다	75	2.58	伝える
11	의(依)하다	60	2.06	依る
12	토(吐)하다	59	2.03	吐く
13	관(關)하다	58	1.99	関する
14	당(當)하다	53	1.82	やられる
15	비(比)하다	45	1.55	比べる
16	인(因)하다	38	1.31	因る
17	상(傷)하다	37	1.27	傷む
18	답(答)하다	28	0.96	答える
19	권(勸)하다	28	0.96	勧める
20	정(定)하다	26	0.89	定める
その他47語		275	9.44	
合計	67	2,911	100.00	

韓国語の上位 20 語に対応する日本語のうち、「対する」「通じる」「関する」以外は和語動詞である。上位 3 語の「대(對)하다」「위(爲)하다」「향(向)하다」で約 5 割を占めている。1 位と 2 位の「대하다」「위하다」で 4 割 (38.89%) に近い。《中央 2016》でもこの 2 つの動詞は 5 割 (57.53%) を優に超えていた。この割合に大きく貢献しているのは「대하다」である。新聞の場合、小説より「대하다」を多く用いることは十分考えられる。

この使用状況を見ても韓国語の方が日本語より漢語動詞を多く用いてい

ることが分かる。1字漢語動詞の延べ語数が多いのは、同じ意味の動詞でありながら、日本語は和語動詞に分類され、韓国語は漢語動詞に分類される語構成の違いによるところが大きいと思われる。この点は<表4>からも確認できる。現在『デイリーコンサイス国語辞典』(2010)に載っている226語の1字漢語動詞が韓国語とどのような対応関係を示すかについて調査をしている。

#### 4.3.2 複合格助詞

中西・庵(2010:3)では、意味に基づいた5種類の「複合格助詞」が取り上げられている。この複合格助詞は、(2)のように定義されている。

- (2) 複合格助詞とは、格助詞「に」「と」などその他の語を合わせた表現

複合格助詞として、(3)のようなものが提示されている。

- (3) に対して、について、として、にとつて、に基づいて、によると、  
よって、(の)ため、につれて、にしたがって、にともなつて

(3)に、「において」「に应じて」「に関して」「にならつて」なども含まれると思われる。

尹・崔(2017)で論じたように、<表4>の1字漢語動詞の中で上位を占めている「대(對)하다」「위(爲)하다」「향(向)하다」などの高い頻度は、意味より機能によるところが大きい。(4abcde)に、20位までの漢語動詞を共起する助詞によって分けて提示する。

- (4) a. 「를/을」と共起する動詞(9語)  
구(求)하다, 권(勸)하다, 원(願)하다, 위(爲)하다,  
정(定)하다, 토(吐)하다, 통(通)하다, 피(避)하다,  
향(向)하다
- b. 「에」と共起する動詞(7語)  
관(關)하다, 답(答)하다, 당(當)하다, 대(對)하다,  
비(比)하다, 의(依)하다, 취(醉)하다

- c. 「에게」「를 / 을」と共起する動詞 (1 語)  
전 (傳) 하다
- d. 「(으) 로」と共起する動詞 (1 語)  
인 (因) 하다
- e. 主語のガ格以外共起する助詞がない動詞 (2 語)  
변 (變) 하다, 상 (傷) 하다

この 20 位の漢語動詞の中で、(5ab) は日本語の「複合格助詞」の機能と類似するところがある。(5a) は助詞「를 / 을」と共起する漢語動詞、(5b) は「를 / 을」以外の助詞と共起する漢語動詞である。しかしながら、韓国語の 1 字漢語動詞の用法は「複合格助詞」という用語を超える用法を持っているため、更なる考察が必要である。

- (5) a. 통 (通) 하다, 피 (避) 하다, 향 (向) 하다
- b. 관 (關) 하다, 대 (對) 하다, 비 (比) 하다, 위 (爲) 하다,  
의 (依) 하다, 인 (因) 하다

1 字漢語動詞の中で、特記すべき点は、「위 (爲) 하다」の用法である。今回の調査では分けることができなかったが、(6ab) のように 2 つの用法が共存している。

- (6) a. 얼마 전 충치 치료를 위해 치과에 갔더니… (김경옥, 2006)  
先日、虫歯の治療のために齒医者に行ったところ…
- b. 오래 전에 읽었지만 다시 읽기 위해… (김경옥, 2006)  
だいぶ前に讀んだが、また讀むために…

(6a) は「위하다」がヲ格の「를 / 을」と共起する名詞句を必要とする用法である。(6b) は動詞の語幹に名詞形転成語尾の「-기」が接続した用法である。『李箱文学賞作品集 2006』の 8 作品を調べたところ、「N-를 / 을 위하다」の用例が 11 例、「V-기 위하다」の用例は 28 例であった。「위 (爲) 하다」という動詞の目的が名詞性なのか、動詞性なのかによるものである。いずれも、「위 (爲) 하다」の用法ではあるが、「V-기 위하다」、すなわち動作・作用を目的とする用法が 2 倍以上多く用いられていた。この点は 2 字漢語



動詞の「V-기 시작 (始作) 하다」と関連づけて、再度論じることにする。

#### 4.4 2字漢語動詞

##### 4.4.1 2字漢語動詞の使用語彙数

<表5>で分かるように、《李箱文学賞10年》で2字漢語動詞が占める語数の割合は新聞の社説より多い。まず、上位20語の延べ語数から見てみよう。

<表5> 《李箱文学賞10年》の2字漢語動詞上位20語および語数

順位	2字漢語動詞	延べ語数	対応する日本語
1	시작 (始作) 하다	567	始める
2	대답 (對答) 하다	254	答える
3	기억 (記憶) 하다	198	記憶する・覚える
4	이해 (理解) 하다	163	理解する
5	도착 (到着) 하다	152	到着する・着く
6	확인 (確認) 하다	145	確認する・確かめる
7	상상 (想像) 하다	118	想像する
8	발견 (發見) 하다	111	発見する・見付ける
9	결혼 (結婚) 하다	104	結婚する
10	설명 (説明) 하다	95	説明する
11	존재 (存在) 하다	92	存在する
12	정리 (整理) 하다	87	整理する・片付ける
13	반복 (反復) 하다	81	反復する・繰り返す
14	짐작 (斟酌) 하다	74	推量する・推測する
15	준비 (準備) 하다	62	準備する・支度する
16	전화 (電話) 하다	60	電話する
17	선택 (選擇) 하다	55	選択する・選ぶ
18	인사 (人事) 하다	55	挨拶する
19	사용 (使用) 하다	51	使用する・使う
20	인정 (認定) 하다	51	認定する・認める
その他	1,593	7,549	
合計	1,613	10,124	

韓国語の「-하다」動詞の中には「채비 (←差備:차비) 하다」「추렴 (←出斂:출렴) 하다」「김장 (←沈藏:침장) 하다」のように、本来は漢語動詞であったが、漢語の発音が変わったため、漢語動詞と分類されなくなった動詞もある。尹・車 (2013) では、このような類の動詞は2字漢語動詞に含めなかった。本稿でも、同様の方針に則って調べた。しかし、『東亜新国語辞典』第5版 (1989/2003) での分類に従い、「김작 (斟酌) 하다」も発音が変わった動詞として捉えていたが、「김작하다」の読み方で用いられているため、今回の調査では漢語動詞としてカウントした。〈表5〉を見れば分かるように、頻度の高い動詞である。

《李箱文学賞10年》には、(7ab) のような漢語動詞の用法が見られた。(7a) は『標準韓国語大辞典』(1999)、『東亜新国語辞典』第5版 (1989/2003) によると、名詞の用法しか持っていない。(7b) は名詞すら載っていない。そのため、いずれもカウントしなかった。

- (7) a. 기행 (紀行) 하다, 증거 (證據) 하다  
 b. 강추 (強推) 하다<sup>4)</sup>, 음사 (音寫) 하다, 집선 (集船) 하다

『東亜新国語辞典』第5版 (1989/2003) に「갈등 (葛藤) 하다」は名詞の用法しか記述されていない。しかし、『標準韓国語大辞典』(1999) には見出し語として載っている。《李箱文学賞10年》にも「갈등 (葛藤) 하다」の用例が見られた。このように、漢語名詞から漢語動詞に派生する場合もあり、逆に辞書には漢語動詞として品詞分類されているが、ほとんどの用法が名詞に限る場合もある。

〈表5〉で上位2語の「시작 (始作) 하다」「대답 (對答) 하다」に対応する日本語は和語動詞である。両言語のこの違いは使用状況の比較に影響を及ぼす。《中央2016》の上位20語にこの2つの動詞は入っていなかった。

#### 4.4.2 機能性の高い2字漢語動詞の存在

《李箱文学賞10年》の20位までの動詞の中で最も用例が多かったのは「시작 (始作) 하다」である。これには理由がある。(8ab) の用例を見てみよう。

- (8) a. 여자는 한참만에야 녹음기를 켜고 일을 시작했다 (전경린, 2007)  
 女はしばらくしてから録音機をオンにして、仕事を始めた。  
 b. 모경도 나를 바라보기 시작했다 (전경린, 2007)  
 モギョンも私を見つめ始めた。

(8a) は「시작하다」がヲ格の「를 / 을」と共起する名詞句を必要とする本動詞としての用法である。(8b)は動詞の語幹に名詞形転成語尾の「-기」が接続した用法である。2006年の8作品のみを調べたところ、「N-를 / 을 시작하다」の用例は15例、「V-기 시작하다」の用例は70例あった。「V-기 시작하다」の方が4倍以上多く用いられている。この点は1字漢語動詞の「V-기 워하다」と関連する用法である。「V-기 시작하다」は日本語の「V-出す」や「V-始める」に相当する意味と機能を持つが、補助動詞として分類される語構成ではない。

「V-기 워하다」、「V-기 시작하다」以外にも(9ab)の複合動詞のような用法がある。(9a)は後項要素が動詞、(9b)は後項要素が形容詞である。「V-기 시작하다」は(8b)のように終止形にもなれるが、「V-기 워하다」は終止形にはなれない。両方とも連体形の用法は持つ。

- (9) a. V-기 싫어하다 (V-を嫌がる)、V-기 좋아하다 (V-を好む)  
 b. V-기 쉽다 (V-易い)、V-기 싫다 (V-たくない)、V-기 좋다 (V-易い)、V-기 편하다 (V-易い)、V-기 어렵다 (V-難しい・V-づらい)

筆者は今回の調査の結果から、現在受け持っている韓国語中級および上級の授業で、「N-를 / 을 워하다」「V-기 워하다」および「N-를 / 을 시작하다」「V-기 시작하다」の高い使用頻度について強調し、用法の熟知を促している。

2字漢語動詞の中には、(10abcd)のように、特定の助詞と共起して従属節での連用形のみを用法を持つものもある。これらも1字漢語動詞で取り上げた「複合格助詞」と類似した性格の用法であるが、用語とはミスマッチであると思われる。いずれも漢語動詞の語幹が持つ意味より助詞と共起して「1つの動詞句」のような役割を果たしている<sup>5)</sup>。『東亜新国語辞典』(1989/2003)に(10abc)のいずれの動詞についても、用法が特化(限定)していることへの補足が付記されている<sup>6)</sup>。(10d)も限定された用法を呈

しているが、補足は付記されていない。本稿では用法の指摘にとどまり、さらに用例を集めて稿を別にして取り上げたい。

- (10) a. 「는 / 은」と共起する動詞  
       각설 (却說) 하다, 차치 (且置) 하다  
       b. 「를 / 을」と共起する動詞  
       막론 (莫論) 하다, 위시 (爲始) 하다  
       c. 「에도」と共起する動詞  
       불구 (不拘) 하다  
       d. 빙자 (憑藉) 하다, 전후 (前後) 하다

#### 4.4.3 「VN-하다」と「VN-를/을 하다」の分布

《李箱文学賞 10 年》の調査の結果を用いて、「VN-하다」と「VN-를/을 하다」の分布について取り上げたい。日本語の場合、「部屋を掃除する」と「部屋の掃除をする」のような類の違いが取り上げられてきたが<sup>7)</sup>、韓国語の場合、それほど注目を集めるテーマではなかった。しかし、「VN-하다」と「VN-를/을 하다」の用法は共存しており、日本語を母語とする韓国語学習者から違いの説明を求められることもしばしばある。幾つかの観点から用法の違いの説明はできるが、十分な説明ができるほど研究は進んでいない。このような用法の説明・解明に母語話者としての内省も必要であるが、《李箱文学賞 10 年》のようなデータの分析も不可欠であると思われる。

《李箱文学賞 10 年》の 1,613 語の 2 字漢語動詞から、303 語の共存形の用例のデータが得られた。(11abc) に共存形の例を提示する。(11a) は「自動詞」、(11b) は「自他両用動詞」、(11c) は「他動詞」である。用例のデータを見る限り、2 つの用法の共存に品詞は直接関わる要素ではないようである。ほとんどの動詞が、主語は有情物であり、意志性を持つ「非能格動詞」であるが、「기겁 (氣怯) 하다」は「非対格自動詞」である。

- (11) a. 가출 (家出) 하다, 감탄 (感歎) 하다, 건배 (乾杯) 하다,  
       고생 (苦生) 하다, 기겁 (氣怯) 하다…  
       b. 각오 (覺悟) 하다, 간청 (懇請) 하다, 결단 (決斷) 하다,  
       결석 (缺席) 하다, 결심 (決心) 하다…

- c. 가공 (加工) 하다, 감안 (勘案) 하다, 강연 (講演) 하다,  
강의 (講義) 하다, 개척 (開拓) 하다…

頻度の高い「도착 (到着) 하다」や「발견 (発見) 하다」の場合、「도착을 하다」や「발견을 하다」の用例は見当たらなかった。筆者の韓国語母語話者としての内省では成り立つが、データからは見られなかった。「밀항 (密航) 하다」は「밀항을 하다」の用例1つしかなかった。「짐작 (斟酌) 하다」の場合は他の助詞の挿入は見られたが、「짐작을 하다」の用例はなかった。漢語動詞におけるこのようなヲ格の「를/을」の挿入についても、稿を改めて取り上げることにしたい。

#### 4.4 小説での使用語彙と新聞での使用語彙

《李箱文学賞 10 年》の漢語動詞と《中央 2016》の漢語動詞の異なり語数は「1,737 語」と「1,781 語」で、44 語の差である。しかし、<表 6>の上位 20 語の漢語動詞を見ると、使用語彙に違いがあることが分かる。《李箱文学賞 10 年》と長編小説の『한낮의 시선 (真昼の視線)』の上位 20 位の 2 字漢語動詞の使用状況を見ると、小説間では使用語彙が重なっていることが分かる。3つのデータに共通する動詞は「인정 (認定) 하다」のみである。

<表 6> 《李箱文学賞 10 年》、『한낮의 시선』、《中央 2016》の

上位 20 の 2 字漢語動詞の比較

順位	李箱文学賞 10 年	延べ語数	한낮의 시선	延べ語数	中央 2016	延べ語数
1	시작 (始作) 하다	567	이해 (理解) 하다	28	주장 (主張) 하다	168
2	대답 (對答) 하다	254	대답 (對答) 하다	25	요구 (要求) 하다	149
3	기억 (記憶) 하다	198	부정 (否定) 하다	23	발생 (發生) 하다	143
4	이해 (理解) 하다	163	설명 (說明) 하다	16	발표 (發表) 하다	126
5	도착 (到着) 하다	152	의식 (意識) 하다	15	기대 (期待) 하다	103
6	확인 (確認) 하다	145	존재 (存在) 하다	14	제시 (提示) 하다	98
7	상상 (想像) 하다	118	당황 (唐慌) 하다	12	거부 (拒否) 하다	95
8	발견 (發見) 하다	111	발견 (發見) 하다	12	강조 (強調) 하다	93
9	결혼 (結婚) 하다	104	기대 (期待) 하다	11	선언 (宣言) 하다	91
10	설명 (說明) 하다	95	시작 (始作) 하다	11	강화 (強化) 하다	89
11	존재 (存在) 하다	92	인식 (認識) 하다	11	포함 (包含) 하다	87
12	정리 (整理) 하다	87	인정 (認定) 하다	11	반대 (反對) 하다	85
13	반복 (反復) 하다	81	무시 (無視) 하다	10	조사 (調査) 하다	85
14	짐작 (斟酌) 하다	74	단정 (斷定) 하다	9	인정 (認定) 하다	80
15	준비 (準備) 하다	62	준비 (準備) 하다	9	고려 (考慮) 하다	79
16	전화 (電話) 하다	60	확인 (確認) 하다	9	결정 (決定) 하다	75
17	선택 (選擇) 하다	55	긍정 (肯定) 하다	8	설명 (說明) 하다	74
18	인사 (人事) 하다	55	제공 (提供) 하다	7	관련 (關聯) 하다	74
19	사용 (使用) 하다	51	거부 (拒否) 하다	7	추진 (推進) 하다	74
20	인정 (認定) 하다	51	경험 (經驗) 하다	7	검토 (檢討) 하다	73
その他	+ 1,593 語	7,549	+ 284 語	535		1,539
合計		10,124		790		11,276

小説と新聞の場合、用いられる漢語動詞に差が見られた。このような使用状況から、《李箱文学賞 10 年》の調査は《中央 2016》の結果を補う形になっていることが分かる。これについては、5.1 で取り上げる。

#### 4.5 3 字漢語動詞

3 字漢語動詞について、尹・崔 (2017) では「最も生産的」であると述べている。しかし、《李箱文学賞 10 年》では《中央 2016》よりも少ない

30語が用いられていた。〈表7〉からも分かるように、いずれの動詞も10回以上用いられることはなかった。以下では、《李箱文学賞10年》に見られた3字漢語動詞の特徴について取り上げる。

〈表7〉《李箱文学賞10年》の3字漢語動詞上位10語および語数

順位	3字漢語動詞	延べ語数	標準	東亞	大辞林	対応する日本語
1	수소문 (搜所聞) 하다	9	○	—	—	
2	심호흡 (深呼吸) 하다	6	○	○	○	深呼吸する
3	총동원 (總動員) 하다	5	○	—	○	総動員する
4	영화화 (映畫化) 하다	3	○	○	○	映画化する
5	기사화 (記事化) 하다	2	○	○	—	
6	동일시 (同一視) 하다	2	○	○	○	同一視する
7	성폭행 (性暴行) 하다	2	○	○	○	
8	수치화 (數値化) 하다	2	○	○	—	
9	우회전 (右回轉) 하다	2	○	○	—	右折する
10	형상화 (形象化) 하다	2	○	—	—	形象化する
その他	+ 20語	20				
合計	30	55	16	14	6	

その他の20語は(12)の通りである。

- (12) 가출옥 (假出獄) 하다・경원시 (敬遠視) 하다・  
 고급화 (高級化) 하다・공치사 (空致辭) 하다・  
 급정거 (急停車) 하다・급제동 (急制動) 하다・  
 단순화 (單純化) 하다・대성공 (大成功) 하다・  
 대수술 (大手術) 하다・반비례 (反比例) 하다・  
 역추적 (逆追跡) 하다・영성체 (領聖體) 하다・  
 자연사 (自然死) 하다・재배치 (再配置) 하다・  
 재정리 (再整理) 하다・재확인 (再確認) 하다・  
 적대시 (敵對視) 하다・정상화 (正常化) 하다・  
 총출동 (總出動) 하다・출퇴근 (出退勤) 하다

《李箱文学賞10年》に用いられた3字漢語動詞30語は《中央2016》

の128語に比べると4分の1ほどである。《李箱文学賞10年》と《中央2016》の異なり語数(1,737:1,781)からは予想できなかった差である。《中央2016》では27語もあった接頭辞「재(再)-」からの派生語も「재배치(再配置)하다」「재정리(再整理)하다」「재확인(再確認)하다」の3語に過ぎなかった。「기호화(記號化)하다」「재배열(再配列)하다」「재입주(再入住)하다」「재단생(再誕生)하다」は漢語動名詞自体が辞書の見出し語になく、「정조준(正照準)하다」<sup>8)</sup>は辞書に名詞形のみが載っていたので、カウントしなかった。以下では、このような使用に見られるばらつきを含め、3字漢語動詞の語構成について考察する。

韓国語の3字漢語動詞は概ね4種類の語構成を呈している。(1)接頭辞による派生、(2)接尾辞による派生、(3)複合構成による派生、(4)名詞形による派生である。沖森・肥爪(2017:63)で、「三字漢語は「2+1」または「1+2」に明瞭に分解できる成り立ちのものが多くを占める」と述べられている。これは「接頭辞」「接尾辞」の高い造語力を指していることで、韓国語にも同様のことが言える。

#### 4.5.1 接頭辞による派生 (13語)

- (13) 가(假)- : 가-출옥(假出獄)하다  
공(空)- : 공-치사(空致辭)하다  
급(急)- : 급-정거(急停車)하다、급-제동(急制動)하다  
대(大)- : 대-성공(大成功)하다、대-수술(大手術)하다  
반(反)- : 반-비례(反比例)하다  
역(逆)- : 역-추적(逆追跡)하다  
재(再)- : 재-배치(再配置)하다、재-정리(再整理)하다、  
재-확인(再確認)하다  
총(總)- : 총-동원(總動員)하다、총-출동(總出動)하다

尹・崔(2017:140)では、《中央2016》に用いられた15語の接頭辞について取り上げていた。(14)にそれを提示する。《李箱文学賞10年》では(13)に例示したように、《中央2016》の半分ほどの8語しか用いられていなかった。



- (14) 가(假)-, 경(輕)-, 공(空)-, 급(急)-, 다(多)-, 대(大)-,  
 맹(猛)-, 무(無)-, 반(反)-, 불(不)-, 역(逆)-, 재(再)-,  
 중(重)-, 총(總)-, 최(最)-

#### 4.5.2 接尾辞による派生 (10 語)

接尾辞は接頭辞に比べ語彙数は少ないが、生産性は高いと思われる。(15)を見てみよう。

- (15) -시(視)      경원시(敬遠視) 하다, 동일시(同一視) 하다,  
 적대시(敵對視) 하다  
 -화(化)      고급화(高級化) 하다, 기사화(記事化) 하다,  
 단순화(單純化) 하다, 수치화(數値化) 하다,  
 영화화(映畫化) 하다, 정상화(正常化) 하다,  
 형상화(形象化) 하다

《中央 2016》でも「-화(化)」の場合、総語彙数 128 語のうち、55 語を占めるほど生産性が高かった。『デイリーコンサイス韓日辞典』(2009)において「-화(化)」は総語彙数 279 語のうち、104 語 (37.28%) を占めているが、実際使用語彙はこれより多いと思われる。《李箱文学賞 10 年》でカウントしなかった「기호화(記號化) 하다」もこれに当たる。

韓国の国語辞典には (16) のような 3 字漢語動詞が見出し語として載っているが、日本の国語辞典には載っていない。尹・崔 (2017) で生産性<sup>9)</sup>が高いと述べたのはこのためである。

- (16) -화(化)      객관화(客觀化) 하다, 고도화(高度化) 하다,  
 고정화(固定化) 하다, 고체화(固體化) 하다,  
 공동화(空洞化) 하다, 공식화(公式化) 하다,  
 극대화(極大化) 하다, 과학화(科學化) 하다,  
 구상화(具象化) 하다, 다각화(多角化) 하다,  
 단일화(單一化) 하다, 무력화(無力化) 하다,  
 문서화(文書化) 하다, 민영화(民營化) 하다,  
 백지화(白紙化) 하다, 본격화(本格化) 하다,  
 사회화(社會化) 하다, 산업화(産業化) 하다,

상용화 (常用化) 하다, 상용화 (商用化) 하다,  
 상징화 (象徴化) 하다, 생활화 (生活化) 하다,  
 서양화 (西洋化) 하다, 세계화 (世界化) 하다,  
 소설화 (小説化) 하다, 습관화 (習慣化) 하다,  
 여론화 (輿論化) 하다, 의식화 (意識化) 하다,  
 이론화 (理論化) 하다, 제도화 (制度化) 하다…

『大辞林』(2005)に(17)のような多くの派生語が載っているが、いずれの動詞も韓国語にある。『デイリーコンサイス国語辞典』(2010)には15語しか載っていない。

(17) -化する 映画化する、角質化する、簡素化する、機械化する、  
 擬人化する、規格化する、近代化する、具体化する、  
 現代化する、国際化する、国有化する、神格化する、  
 正常化する、大衆化する、多極化する、多様化する、  
 単純化する、抽象化する、普遍化する、明文化する、  
 老朽化する…

(18) は「-化」に派生したものの、動詞化はしていない語である。いずれも韓国語は「-하다」が接続して漢語動詞になっている。このような派生状況からも韓国語の3字漢語動詞は生産的であると言えそう。

(18) -化 空洞化(×)、工業化(×)、社会化(×)、商品化(×) …

「-시(視)」の場合は、総語彙数30語のうち、3語(10%)で、「-화(化)」と「-시(視)」の2つの接尾辞による派生語が3割以上を占めている。

노명희 (Ro 2005:216-27)で、「叙述性接尾辞」という分類が施され、「-시(視)」「-연(然)」「-화(化)」が取り上げられている。『東亜新国語辞典』(1989/2003)でもこの3つの接辞が接尾辞として分類され、見出し語として載っている。しかし、接尾辞「-연(然)」による派生語は「군자연(君子然)하다」「학자연(學者然)하다」しか思いつかないほど生産性が低い。これについて、노명희(2005:226)は、上記の2つに「대가연(大家然)하다」「장군연(將軍然)하다」を加え4つの派生語を提示している。노명희(2005:

226) も述べているように、主に「-연(然)」は漢文調の文に用いられている。これほど生産性の低い語が接尾辞として分類されることには疑問を抱く<sup>10)</sup>。

「-연(然)」と違って、「-사(死)」は接尾辞として品詞分類はされていないが、生産性は高い。(19abc)と(20)を見てみよう。(19a)は「-하다」が接続して「自動詞」、(19b)は「-하다」が接続して「他動詞」、(19c)は名詞のみの用法である。(20)の3字漢語名詞は、いずれも「-하다」が接続して漢語動詞に派生する。

- (19) a. 객사(客死)、교사(絞死)、독사(毒死)、동사(凍死)、  
병사(病死)、순사(殉死)、아사(餓死)、압사(壓死)、  
익사(溺死)、전사(戰死)、즉사(卽死)、직사(直死)、  
폭사(暴死)、폭사(爆死)...
- b. 치사(致死)
- c. 뇌사(腦死)
- (20) 감전-사(感電死)、과로-사(過勞死)、복상-사(腹上死)、  
자연-사(自然死)、질식-사(窒息死)、추락-사(墜落死)...

今回の《李箱文学賞10年》では(21)の「자연사(自然死)하다」の1例が見られた。

- (21) 그런데 삼 년 전 쇠약해져 자연사하고 사흘 뒤 환생했을 때, 그녀는 완전히 다른 자아형을 가진 채 깨어났어요 (윤이형, 2009)

《中央2016》では「질식사(窒息死)하다」の1語が用いられていた。新聞などでは(22ab)のように、「실족사(失足死)하다」「의문사(疑問死)하다」の「漢語+하다」の用法や(23abcd)のように、「감염사(感染死)」「과로사(過勞死)」「돌연사(突然死)」「사고사(事故死)」のような名詞形の用法が見られた。「-연(然)」と違って、「안락사(安樂死)」「존엄사(尊嚴死)」のように、時代の変化に合わせて接尾辞としての「-사(死)」の用法は増えると思われる。

- (22) a. 실종 8일 만에 호수에서 주검으로 발견된 (<한겨레> 13일치 14면) 부산 여대생은 실족사한 것으로 결론이 났다 (한겨레, 20120417)
- b. 작품 속 화자는 군대에서 의문사한 아들의 신원회복을 위해 육 년째 군 당국과 싸우는 중년 여성이다 (한겨레, 20160624)
- (23) a. 화물차를 운전하던 경호 아버지는 과로사로 세상을 떠났습니다(한겨레, 20180908)
- b. 캐나다, 리스 테리아군 감염사 12명 사망 (YTN NEWS, 20080826)
- c. 돌연사 부르는 심장 엿박자, 가슴 쥐어짜듯 아프면 위험 (중앙일보, 20181006)
- d. 이혼 50대 부부 석연찮은 사고사…경찰 수사 (연합뉴스, 20110824)

#### 4.5.3 複合構成による派生 (4 語)

- (24) a. 성-폭행 (性暴行) 하다, 우-회전 (右回轉) 하다
- b. 심-호흡 (深呼吸) 하다
- c. 출-퇴근 (出退勤) 하다

複合構成によって派生した (24abc) の4語の場合、共通点は「폭행 (暴行) 하다」「회전 (回轉) 하다」「호흡 (呼吸) 하다」「퇴근 (退勤) 하다」という漢語動詞から派生したことである。これらはさらに3つのグループに分かれる。(24a)は「名詞+名詞+하다」の構成である。(24b)の「심-호흡 (深呼吸) 하다」は「副詞+名詞+하다」、(24c)の「출퇴근 (出退勤) 하다」は、「출근 (出勤) 하다」と「퇴근 (退勤) 하다」の複合動詞的な構成である。(13)の8つの接頭辞も (24b)のように、「副詞+名詞+하다」の用法として考えられる。「출퇴근하다」のような語構成は多くはないが、類似した構成を示しているのが「통합 (統合) 하다+폐합 (廢合) 하다→통폐합 (統廢合) 하다」である。「수출 (輸出) 하다+수입 (輸入) 하다→수출입 (輸出入)」「인가 (認可) 하다+허가 (許可) 하다→인허가 (認許可)」も同じ語構成であるが、動詞には派生していない。

#### 4.5.4 名詞形による派生 (1 語)

「영성체 (領聖體)」の場合、カトリックでの「聖体拝領」のことを意味する。「영성체 (領聖體) 하다」は名詞の「영성체 (領聖體)」に接尾辞の「-하다」が接続したものである。上記での派生関係から見てこのような派生は多くないと思われる。

#### 4.5.5 その他 (1 語)

3 字漢語動詞の 30 語から、頻度の最も高かった「수소문 (搜所聞) 하다」の場合、名詞の「소문 (所聞)」に動作性の意味と機能を添える「수 (搜)」が加わった。この「수 (搜)」は (24a) の「성 (性)」や「우 (右)」のように名詞としても、接尾辞としても特定の用法を持っていない。また「수 (搜) + 소문 (所聞)」以外の派生語もない、特殊な語構成であると言える。

### 4.6 4 字漢語動詞

4 字漢語動詞の場合、延べ語数は「51 語」である。これらは 3 字漢語動詞のような接頭辞や接尾辞による派生ではなく、4 字熟語による派生が多い。〈表 8〉の頻度の高い語彙を日本語と比較しながら見てみよう。

〈表 8〉《李箱文学賞 10 年》の 4 字漢語動詞上位 9 語および語数

順位	4 字漢語動詞	延べ語数	大辞林	対応する日本語
1	전전공공 (戰戰兢兢) 하다	6	○	戰戰恐恐する
2	대성통곡 (大聲痛哭) 하다	5	—	
3	동분서주 (東奔西走) 하다	5	○	東奔西走する
4	심사숙고 (深思熟考) 하다	5	—	
5	무단결석 (無斷缺席) 하다	3	—	
6	반신반의 (半信半疑) 하다	3	○	半信半疑 (名)
7	승승장구 (乘勝長驅) 하다	2	—	
8	정년퇴직 (停年退職) 하다	2	—	
9	횡설수설 (橫說豎說) 하다	2	—	
その他	+ 18 語	18	3	
合計		51		

上位 9 語の頻度を見ると、いずれも 10 回以下である。〈表 4〉の 1 字

漢語動詞に比べると非常に少ない使用状況である。

最初は《李箱文学賞 10 年》の 4 字漢語動詞のリストに「기절초풍 (氣絶-風) 하다」を含めた。「기절 (氣絶) 하다」は日常でも比較的用いられる漢語動詞であるため、「기절초풍하다」はそこからの派生語であると捉えていたが、「초풍 (-風) 하다」は漢語動詞でなかった。4 字漢語動詞にこのような語構成を持つ語が含まれていることに今後の調査では一層の注意を払いたい。

1 回だけの用法が見られた 18 語は (25abc) のように分けられる。(25a) は日本語に対応する漢語動詞がある場合、(25b) は対応する漢語名詞のみがある場合、(25c) は対応する漢語がない場合である。4 字漢語動詞は日韓両言語間で負の転移に繋がる場合が多い。

- (25) a. 고군분투 (孤軍奮鬪) 하다, 과소평가 (過小評價) 하다, 망연자실 (茫然自失) 하다, 수수방관 (袖手傍觀) 하다, 우왕좌왕 (右往左往) 하다
- b. 동결건조 (凍結乾燥) 하다, 솔선수범 (率先垂範) 하다
- c. 거수경례 (擧手敬禮) 하다, 기진맥진 (氣盡脈盡) 하다, 노심초사 (勞心焦思) 하다, 동문서답 (東問西答) 하다, 만수무강 (萬壽無疆) 하다, 박장대소 (拍掌大笑) 하다, 비명횡사 (非命橫死) 하다, 사정사정 (事情事情) 하다, 설왕설래 (說往說來) 하다, 의사소통 (意思疏通) 하다, 좌충우돌 (左衝右突) 하다

27 語の 4 字漢語動詞の中で、日本語と正の転移を示していたのは 6 語だけである。「전전공공 (戰戰兢兢) 하다」に対応する日本語は、今は「戦戦恐々する」であるが、そもそも「戦戦兢兢する」である。「半信半疑」「凍結乾燥」「率先垂範」は韓国語と違って名詞のみの用法を持つ。「安打する」「意見する」「飲食する」のように、日本語は漢語動詞であるが、韓国語は名詞の場合もある。しかし、実際韓国語の方が動詞で日本語は名詞の場合が多い。

『デイリーコンサイス韓日辞典』(2009)には 237 語の 4 字漢語動詞が見出し語として載っている。『デイリーコンサイス韓日辞典』(2009)より見出し語の多い『デイリーコンサイス国語辞典』(2010)には 119 語の 4 字漢語動詞が載っている。韓国語の方が 2 倍以上である。これは、日本語には 4 字漢語動詞が韓国語より成り立ちにくい語構成や発音上の問題などが

立ちはだかっているからだと思われる。尹亭仁(2016)および尹亭仁(2017)に、韓国語の方が日本語より2倍以上の漢語動詞を用いているとの調査結果が提示されている。4字漢語動詞に見られる上記のような非対応もその一因になっている。

#### 4.7 5字漢語動詞および6字漢語動詞

《李箱文学賞10年》から5字および6字漢語動詞の用例は見られなかった。

ここまで、《李箱文学賞10年》のデータに見られた韓国語の漢語動詞の語彙数および語構成の特徴について音節ごとに取り上げた。考察の結果をまとめると次のようになる。

1字漢語動詞は、異なり語数も多く新聞より多様な用法を見せていた。特に上位3語だけで5割以上(50.19%)の使用状況を呈していた。

2字漢語動詞は、『デイリーコンサイス韓日辞典』(2009)の見出し語の調査で浮き彫りになった、漢語動詞全体の語数で占める9割近くの割合が小説での使用状況からも確認できた。

3字漢語動詞は、「接頭辞」と「接尾辞」、特に「재(再)-」と「-화(化)」による派生が非常に生産的であるが、小説では新聞より使用語彙が多くなかった。

4字漢語動詞は、小説83作品に27語が用いられていた。

5字および6字漢語動詞の使用状況は確認できなかった。

### 5. 韓国の小説・新聞社説における使用語彙数の比較

#### 5.1 小説と新聞社説に見る共通漢語動詞

今回の《李箱文学賞10年》と《中央2016》の語彙調査の結果から、韓国人は小説を読む際も、また新聞を読む際も、約1,800語の漢語動詞の用法の理解が必要であると考えられる。この2つの調査の結果はどれくらい重なるものであろうか。両方に使われた漢語動詞の数値を提示したい。

＜表 9＞小説と新聞社説に見る共通漢語動詞

音節	李箱文学賞 10 年	中央 2016	共通漢語動詞数
1 音節	67	49	44
2 音節	1,613	1,560	918
3 音節	30	128	9
4 音節	27	43	9
5 音節	0	1	0
6 音節	0	0	0
総語彙数	1,737	1,781	980

1 字漢語動詞の場合、44 語も共通している。4.1 で取り上げたように、1 字漢語動詞の上位の語は助詞の機能に近い語が多く、違う年度の新聞の社説や違う時期の 10 年間の小説の語彙調査を行なっても 40 語ほどの共通語彙は得られると思われる。

2 字漢語動詞の場合、900 語以上の共通語彙の使用が確認できた。小説と新聞のそれぞれの語彙リストを並べてみると、「小説用の漢語動詞」と「新聞用の漢語動詞」に分かれることが分かる。例を示してみよう。

＜表 10＞小説と新聞社説に見る共通漢語動詞

小説のみに見られた漢語動詞	共通漢語動詞	新聞のみに見られた漢語動詞
695 語	918 語	642 語
갈등 (葛藤) 하다 ↔	가담 (加擔) 하다	각하 (却下) 하다→
감탄 (感歎) 하다 ↔	가입 (加入) 하다	간의 (諫議) 하다→
결근 (缺勤) 하다 ↔	가정 (假定) 하다	감세 (減稅) 하다→
←경악 (驚愕) 하다	가출 (家出) 하다	←강제 (強制) 하다
←고뇌 (苦惱) 하다	각오 (覺悟) 하다	←개량 (改良) 하다
←고행 (苦行) 하다	간섭 (干涉) 하다	←개선 (改善) 하다
←광분 (狂奔) 하다	강조 (強調) 하다	개진 (開陳) 하다→
←기겁 (氣怯) 하다	거부 (拒否) 하다	개헌 (改憲) 하다→
←낙담 (落膽) 하다	경쟁 (競爭) 하다	개혁 (改革) 하다→
←낭송 (朗誦) 하다	대답 (對答) 하다	경질 (更迭) 하다→

＜表 10＞の 2 字漢語動詞を見ると、意味によって使用媒体が分かれる



ことが分かる。もちろん、この中で、「결근 (缺勤) 하다」「개선 (改善) 하다」などは入れ替わる可能性もある。

3字漢語動詞の場合、(26) の9語が共通していた。

- (26) 단순화 (單純化) 하다, 대수술 (大手術) 하다,  
반비례 (反比例) 하다, 성폭행 (性暴行) 하다,  
수치화 (數値化) 하다, 재배치 (再配置) 하다,  
재확인 (再確認) 하다, 정상화 (正常化) 하다,  
총동원 (總動員) 하다

4字漢語動詞の場合も、(27) の9語が共通していた。

- (27) 과소평가 (過小評價) 하다, 노심초사 (勞心焦思) 하다,  
무단결석 (無斷缺席) 하다, 설왕설래 (說往說來) 하다,  
술선수범 (率先垂範) 하다, 수수방관 (袖手傍觀) 하다,  
승승장구 (乘勝長驅) 하다, 심사숙고 (深思熟考) 하다,  
우왕좌왕 (右往左往) 하다

《李箱文学賞 10年》と《中央 2016》の語彙調査・分析の結果から、筆者は1,000語ほどを「共通漢語動詞」と考えてもいいと思う。3字～6字の漢語動詞の使用状況は流動的であるため、これには含めず、1字漢語動詞40語と2字漢語動詞960語がその対象となる。さらに、韓国の小説や新聞を理解するためには、少なくとも「2,000語」ほどの漢語動詞の知識が必要であるとも考えている。

## 5.2 韓国語テキストにおける漢語動詞

筆者は《李箱文学賞 10年》と《中央 2016》の2つの語彙調査の結果を用いて、大学の授業で使用されている韓国語の教材との共通漢語動詞の比較を試みた。今回はシリーズで4巻まで出ている2種類のテキストを対象とした。韓国で出版された『韓国語 1～4』は、ソウル大学で外国人韓国語学習者を対象に使用されているテキストである。日本で市販される『総合韓国語 1～4』は、主に日本の大学で使用されている。両テキストに

において、2字漢語動詞は9割以上を占めていた。この2つのテキストにおける共通する2字漢語動詞は「180語」で、《李箱文学賞10年》と《中央2016》との共通語彙は「110語」であった。〈表11〉はそのリストである。

筆者は〈表11〉のリストを韓国語教育に必要な基本2字漢語動詞として捉えている。今後、調査対象のテキストを増やし、分析を加え、300語の漢語動詞を「大学での韓国語教育に必要な基本漢語動詞」として策定し、韓国語の授業で提示していきたい。

<表 11> 小説・新聞・韓國語テキストにおける共通漢語動詞

1	감사하다	感謝 --	感謝する	56	수업하다	授業 --	授業する
2	감소하다	減少 --	減少する	57	숙제하다	宿題 --	宿題する
3	강의하다	講義 --	講義する	58	시작하다	始作 --	始める
4	개발하다	開發 --	開發する	59	실시하다	實施 --	実施する
5	결석하다	缺席 --	欠席する	60	실천하다	實踐 --	実践する
6	결심하다	決心 --	決心する	61	안내하다	案内 --	案内する
7	결혼하다	結婚 --	結婚する	62	여행하다	旅行 --	旅行する
8	경고하다	警告 --	警告する	63	연결하다	連結 --	連結する
9	계속하다	繼續 --	繼續する	64	연구하다	研究 --	研究する
10	계획하다	計劃 --	計画する	65	열중하다	熱中 --	熱中する
11	고민하다	苦悶 --	悩む	66	예상하다	豫想 --	予想する
12	고생하다	苦勞 --	苦勞する	67	완성하다	完成 --	完成する
13	공부하다	工夫 --	勉強する	68	운전하다	運轉 --	運轉する
14	관련하다	關聯 --	關連する	69	위치하다	位置 --	位置する
15	교육하다	教育 --	教育する	70	유지하다	維持 --	維持する
16	금지하다	禁止 --	禁止する	71	응답하다	應答 --	應答する
17	기대하다	期待 --	期待する	72	응원하다	應援 --	應援する
18	노력하다	努力 --	努力する	73	의논하다	議論 --	相談する
19	녹음하다	錄音 --	録音する	74	의식하다	意識 --	意識する
20	대신하다	代身 --	代わる	75	이동하다	移動 --	移動する
21	대표하다	代表 --	代表する	76	이용하다	利用 --	利用する
22	대화하다	對話 --	対話する	77	이해하다	理解 --	理解する
23	도착하다	到着 --	到着する	78	입학하다	入學 --	入学する
24	등록하다	登錄 --	登録する	79	자신하다	自信 --	自信する
25	무리하다	無理 --	無理する	80	작용하다	作用 --	作用する
26	문의하다	問議 --	問い合わせる	81	적응하다	適應 --	適應する
27	반대하다	反對 --	反対する	82	전공하다	專攻 --	專攻する
28	반응하다	反應 --	反応する	83	전망하다	展望 --	展望する
29	발생하다	發生 --	發生する	84	전화하다	電話 --	電話する
30	발전하다	發展 --	發展する	85	접수하다	接受 --	受け付ける
31	발표하다	發表 --	発表する	86	조사하다	調査 --	調査する
32	방송하다	放送 --	放送する	87	졸업하다	卒業 --	卒業する
33	방학하다	放學 --	學校が休みになる	88	종합하다	綜合 --	綜合する
34	보고하다	報告 --	報告する	89	주장하다	主張 --	主張する
35	보호하다	保護 --	保護する	90	준비하다	準備 --	準備する
36	봉사하다	奉仕 --	奉仕する	91	지배하다	支配 --	支配する
37	부담하다	負擔 --	負担する	92	지속하다	持續 --	持續する
38	부정하다	否定 --	否定する	93	청구하다	請求 --	請求する
39	부탁하다	付託 --	頼む	94	청소하다	掃除 --	掃除する
40	비교하다	比較 --	比較する	95	체험하다	體驗 --	体験する
41	비행하다	飛行 --	飛行する	96	축하하다	祝賀 --	祝賀する
42	사과하다	謝過 --	謝る	97	출발하다	出發 --	出發する
43	사망하다	死亡 --	死亡する	98	충성하다	忠誠 --	忠誠する
44	사업하다	事業 --	事業を興す	99	취소하다	取消 --	取り消す
45	사용하다	使用 --	使用する	100	통일하다	統一 --	統一する
46	상대하다	相對 --	相手にする	101	통화하다	通話 --	通話する
47	생활하다	生活 --	生活する	102	파괴하다	破壞 --	破壊する
48	선택하다	選擇 --	選択する	103	포기하다	拋棄 --	諦める
49	설명하다	說明 --	説明する	104	포함하다	包含 --	含む
50	설치하다	設置 --	設置する	105	표현하다	表現 --	表現する
51	성공하다	成功 --	成功する	106	허락하다	許諾 --	許す
52	소개하다	紹介 --	紹介する	107	확인하다	確認 --	確認する
53	소통하다	疏通 --	疎通する	108	환영하다	歡迎 --	歡迎する
54	소화하다	消化 --	消化する	109	활동하다	活動 --	活動する
55	수술하다	手術 --	手術する	110	희망하다	希望 --	希望する

## 6. 終わりに

本稿では、《李箱文学賞 10 年》を対象に語彙調査を行ない、韓国語の漢語動詞の使用状況および音節ごとの語構成の特徴について取り上げた。

今回の語彙調査で、韓国の日刊紙における漢語動詞の使用状況に加え、短編および中編小説 83 作品における使用状況も浮き彫りになった。小説と新聞において用いられる漢語動詞に違いがあることも明らかになった。調査対象から 980 語、最も頻度の高い 2 字漢語動詞の場合は 918 語が共通しており、これを 8 冊の韓国語テキストに適用し、「110 語」という「韓国語教育に必要な基本漢語動詞」の一部を算出した。

韓国語の漢語動詞の場合、日本語より受身動詞や使役動詞の派生に制約が多い。《中央 2016》《李箱文学賞 10 年》で得られた漢語動詞を基本データとし、その派生関係についても調査および分析を続けたい。

## 注

- 1 詳細については、尹・崔 (2017)、pp. 132-133 を参照されたい。
- 2 詳細については、尹 (2016) および尹 (2017) を参照されたい。
- 3 韓国では、基本的に意味の捉え方に間違いが生じる恐れがない限り、漢字表記は用いない。以下の漢語動詞に併記する漢字はいずれも筆者が加えたものである。
- 4 「강력(強力) 하게 추천(推薦) 하다」の略語である。携帯電話の使用率が日本より高い韓国ではこのような略語が非常に増えている。このような類の語をどのように扱うべきか、学術的議論が必要である。
- 5 『東亜新国語辞典』第 5 版 (1989/2003: 1100) の「不完全動詞」という項目に活用形が限定される動詞が取り上げられている。「가르다(言う)」「달다(何かをくれと頼む)」「데리다(連れる)」を例として挙げている。いずれも固有語動詞である。(10abc) は漢語動詞であるが、これに近い用法である。
- 6 類似した用法を持つ漢語動詞に「고사(姑捨) 하다」があるが、『東亜新国語辞典』(1989/2003:192) には連用形の「고사(姑捨) 하고」だけを見出し語として載せ、「副詞」の扱いをしている。『標準韓国語大辞典』(1999) では、「고사(姑捨) 하다」が見出し語として載っており、(10abc) と同様に、用法についての附記がついている。
- 7 田野村忠温 (1988) を参照されたい。
- 8 『中央日報』(20181003) にも、次のように「정조준(正照準) 하다」の用例が見られた。「그러자 이해찬은 자신의 보좌관 출신인 유시민을 정조준했다」。「갈등(葛藤) 하다」と同様に、漢語動詞としての扱いになると思われる。『デイリーコンサイス韓日辞典』(2009) の改訂の際にはこの点を反映するつもりである。
- 9 韓国語の派生語の「生産性」については、宋喆儀 (1992)、pp. 27 - 31 に詳しく述べられている。
- 10 안소진 (An So-jin, 2004), pp. 86-94 に、5 つの辞書における漢語接頭辞の分類の

相違が提示されている。漢語接尾辞についても同様のことが提示できる。

### 【参考文献】

- 안소진 (An So-jin, 2004) 「漢字語接頭辞에 관한 연구」『国語研究』176 国語研究会：ソウル
- 庵功雄・張志剛 (2015) 「漢語サ変動詞に見る近代語と現代語—コーパスを通しての考察—」『日本語の研究』11-2 pp. 86-100 日本語学会
- 沖森卓也・木村義之・陳力衛・山本真吾 (2006) 『図解日本語』三省堂
- 沖森卓也・肥爪周二 (2017) 『漢語』朝倉書店
- 小林英樹 (2004) 『現代日本語の漢語動名詞の研究』ひつじ書房
- 宋喆儀 (1992) 『国語의 派生語形成研究』国語学会：ソウル
- 田野村忠温 (1988) 「『部屋を掃除する』と『部屋の掃除をする』」『日本語学』7-11 pp. 70-80 明治書院
- 中西久実子・庵功雄 (2010) 『日本語文法演習助詞—「は」と「が」、複合格助詞、とりたて助詞など—』スリーエーネットワーク
- 노명희 (Ro Myeng-hi, 2005) 『現代国語漢字語研究』国語学会：ソウル
- 尹亭仁 (2015) 「韓国語の漢語動詞・漢語形容詞の語彙調査—『デイリーコンサイス韓日辞典』(2009、三省堂)の分析を中心に—」『神奈川大学人文研究所報』55 pp. 21-30 神奈川大学人文研究所
- 尹亭仁 (2016) 「日韓両言語における漢語動詞の対応をめぐって (1) —韓日対訳小説を一例として—」『神奈川大学人文研究所報』57 pp. 61-72 神奈川大学人文研究所
- 尹亭仁 (2017) 「日韓両言語における漢語動詞の対応をめぐって (2) —日韓対訳小説を一例として—」『神奈川大学人文研究所報』58 pp. 67-79 神奈川大学人文研究所
- 尹亭仁・車香春 (2013) 「韓国語と日本語の2字漢語動詞に関する一考察—韓日辞典に見られる異同を手がかりに」『神奈川大学言語研究』36 pp. 1-24 神奈川大学言語研究センター
- 尹亭仁・崔英姬 (2017) 「韓国語の漢語動詞の語彙調査 (1) —『中央日報』の社説 (2016年1～12月)の分析を中心に—」『神奈川大学言語研究』40 pp. 129-151 神奈川大学言語研究センター

### 【辞書】

<日本語>

- 佐竹秀雄・三省堂編修所編 (2010) 『デイリーコンサイス国語辞典』第5版 (中型版) 三省堂
- 松村明編 (2005) 『大辞林』第2版 三省堂
- 尹亭仁編 (2009) 『デイリーコンサイス韓日辞典』三省堂

<韓国語> (ハングル順)

- 国立国語研究院 (1999) 『標準韓国語大辞典』

李基文監修（1989/2003）『東亜新国語辞典』第5版 東亜出版社

**【韓国語テキスト】**

- ソウル大学語学研究院（2010）『韓国語 1』 Moonjin Media  
ソウル大学語学研究院（2010）『韓国語 2』 Moonjin Media  
ソウル大学語学研究院（2010）『韓国語 3』 Moonjin Media  
ソウル大学語学研究院（2010）『韓国語 4』 Moonjin Media  
油谷幸利・南相璽（2001）『総合韓国語 1』 白帝社  
油谷幸利・南相璽（2002）『総合韓国語 2』 白帝社  
油谷幸利・南相璽（2003）『総合韓国語 3』 白帝社  
油谷幸利・南相璽（2004）『総合韓国語 4』 白帝社

**【小説】**

<韓国語>

『李箱文学賞受作品集 2006-2015』 文学思想社

李承雨『한낮의 시선（真昼の視線）』（2009）자음과 모음

<日本語>

吉本ばなな（1988）『キッチン』 福武書店